

第2回仙台市農業委員候補者選定委員会 議事概要

日 時 平成30年3月26日（月）10:00～11:00

場 所 仙台市役所第四委員会室

出席委員 5名：伊藤 房雄、菊地 利裕、齋藤 和子、高野 秀策、丸山 水穂（敬称略）

欠席委員 0名：

事務局 経済局農林部農政企画課

- 内 容
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議事
 4. その他（事務連絡）
 5. 閉会

要旨

1. 委員会の開催について

全委員5名のうち5名の出席により、「仙台市農業委員候補者選定委員会設置要綱」第6条第2項の規定による定足数（過半数）を満たすことを確認した。

2. 議事録署名委員の選任について

伊藤 房雄委員を議事概要署名人として選任した。

3. 議事

(1) 応募者等の状況について

事務局から応募者等の状況について説明する。

質疑応答は以下のとおり。

問 応募者等の中に農業委員にふさわしくない人などに該当する人はいるのか？

答 詳しくは次の議事で説明いたしますが、ふさわしくない人に該当する人は、いませんでした。

(2) 応募者等の基礎評価について

事務局から応募者等の基礎評価について説明を行い、委員が基礎評価の点数について4月12日までに確認することを説明した。

委員からの質疑はなく、委員の了承を得た。

(3) 応募者等の人物評価について

事務局から応募者等の人物評価について、事務局案を示さず、委員が評価する案を説明した。委員からの意見は以下のとおり。

意見1 人物評価についての正解はないが、今回の場合は相対評価として、aとeに1割、bとdに2割～3割、cに4割、の割合で評価してはどうか。

意見2 相対評価で差をつけた方が全体評価しやすいと思うが、記載内容に問題がないものならc評価、より良いものはb評価、素晴らしいものはa評価、ふさわしくないものをdやeにするのも1つの手法ではないか。

また、評価の観点として、いくつか項目、目安があると評価しやすい。

意見3 人物評価は難しいものがある。評価の手法もいろいろあって悩ましい。

意見4 先ほどの委員の意見のとおり、基準をcとして、農業委員にふさわしくない内容があるならdとかe、ふさわしい内容となっていれば、bとかaの評価となるのではないか。

議長が各委員からの意見を踏まえ、「応募者等の人物評価は、事務局から事務局案を示さず、委員が自らの見識より記載内容を基に5段階で評価する。cを基準として上下に振り分けるという方向で4月12日までに評価する」ことを提案し、委員の了承を得た。

(4) 応募者等の人物評価表

事務局から応募者等の人物評価表について、委員が4月12日までに人物評価を行い、事務局が4月13日に人物評価表を回収することを説明した。

委員からの質疑はなく、委員の了承を得た。